

別表第1（第6条及び第7条関係）

1 補助対象事業及び事業の実施に係る要件等は下記のとおりとする。

（1）施設整備・運営の前提となる考え方
<ul style="list-style-type: none">・入居企業の研究領域は限定しないこと。・バイオセーフティレベルを考慮する実験においては、レベル1までの実験を主な対象とする。ただし、入居者が安全キャビネット等の設備の導入等により必要な拡散防止措置を行う場合は、レベル2までの実験も対象とする。
（2）事業予定地または事業予定建物に係る要件
<ul style="list-style-type: none">・事業予定地が仙台市内であり、かつ市街化区域であること。・関係部署との調整期間を含め、施工開始日までに確実に事業開始が可能な事業予定地および建物が確保されていること。・事業予定地が係争地でないこと。事業予定地を賃借契約で確保する場合は、定期借地契約でないこと。建物を賃貸契約で確保する場合は定期借家契約でないこと。定期借地契約または定期借家契約の場合は、仙台市ウェットラボ整備事業公募型プロポーザルへの参加表明の前に市に当該内容を説明すること。・建物のうち、本事業を予定する部分が、ウェットラボとして研究開発に使用されたことがないこと。・事業予定地および建物に所有権のほか抵当権（当該事業に係る金融機関からの借り入れによる抵当権を除く。）および根抵当権等の第三者の権利が設定されている場合は、事業開始までに当該権利を抹消できること。これができない場合は、仙台市ウェットラボ整備事業公募型プロポーザルへの参加表明の前に市に当該内容を説明すること。

2 補助対象経費は、以下に掲げる「補助対象経費」に該当するものとする。

ただし、補助対象経費の前提となる考え方は以下（１）～（３）のとおりとする。

（１）本補助金の事業者選定通知日から工事の完了までに発生する費用とする。

（２）下表第２及び第３は、下表第１により整備されるウェットラボに係る経費のみを認める。

（３）下表第２及び第３の補助対象経費の合計額は、第１の補助対象経費の金額の１／２を上限とし、これを超える部分は補助対象外とする。

補助対象経費	補助対象外経費（参考）
<p>1. ウェットラボとして使用する部屋の整備に係る以下の費用</p> <p>① リノベーション工事費用</p> <p>※ 建築工事、電気工事、機械設備工事</p> <p>※ ウェットラボの運営のために必要となる設備（緊急シャワー、廃液の貯蔵タンク、セキュリティ確保等）に係る費用も含む</p> <p>※ 間接工事費（共通仮設費、現場管理費）、諸経費等も含む</p> <p>② 設計に係る費用</p> <p>③ ウェットラボの施設整備、運営にあたり必要な検査費用</p> <p>※ウェットラボに係る費用の切分が困難な場合は、原則として当該工事対象の施工床面積比により按分する。その他合理的な算定方法により按分した場合は、その根拠資料を提出すること。</p> <p>2. 本表１の対象となるウェットラボにおいて、ウェットラボに特有の諸条件の検討・手続き等に関し、専門的知見を有する事業者から助言を受けるための費用</p> <p>※ウェットラボの整備・運営において、法令遵守・安全確保等に直接関連したものに限る</p> <p>3. 本表１に付随するものとして整備する以下の機能の整備に係る費用</p> <ul style="list-style-type: none">・会議スペース・コワーキングスペース	<ul style="list-style-type: none">・ウェットラボとして使用する部屋以外の部分に係る工事費用 （例）廊下、トイレ、外構、駐車場・実験内容によって必要となる専用設備（ドラフトチャンバー等）に係る費用・一般的な備品（机、椅子）等に係る費用・事業者選定前の設計等にかかる費用・廃棄物の処分費用・アスベスト調査費用・土地・建物の買収・賃借等に係る費用・消費税及び地方消費税

<ul style="list-style-type: none">・ イベントスペース・ コミュニケーションラウンジ <p>※ リノベーション工事費用</p> <p>※ 間接工事費（共通仮設費、現場管理費）、諸経費、設計に係る費用含む</p>	
---	--